麗澤会報
みずこう

麗澤会報みずこう 148 号
平成27年12月1日発行
発行所…麗澤瑞浪中学・高等学校麗澤会
〒509-6102 岐阜県瑞浪市稲津町萩原
電話 0572（66）3111
発行人……西尾征司
編集人……望月正人
http://www.mz.reitaku-u.ac.jp/

懐かしい顔と料理と授業
中学30周年で瑞浪に集う

10月31日、麗澤瑞浪中学開校30周年記念大会が、瑞浪の大食堂で開催されました。昭和60年に入学した1期から、今年卒業した25期までの卒業生と教職員合わせて296人が、懐かしの食堂に集い、懐かしの料理に舌鼓を打ちながら、友や恩師、先輩後輩と語らって、楽しいひと時を過ごしました。また、その後はかつての教室で恩師による授業が行われ、数十年前にタイムスリップして、当時の気分が甦ってきました。

開校30年の節目を迎え、多くの中学卒業生が瑞浪に集い、1期の伊藤敏大さんと4期の荻原妃佐代さんの司会で始まった会食では、記念大会にふさわしく、さまざまなイベントを行い、大いに盛り上がりました。

西尾みずこう麗澤会会長の挨拶に始まり、蟹井克也校長、井上貞廣先生の挨拶では思い出のひとコマを紹介された後、「これからの麗澤瑞浪は君たち若い力で盛り上げていってほしい」とのメッセージをいただきました。続いて、1期の斎藤浩昭さんから「こうして集まった皆とは、共通の話題を持つ兄弟になれた。今後も素晴らしい伝統と歴史を繋いでいきましょう」との発声で乾杯をしました。

食堂では前日から準備をして作ってくださった懐かしのメニュー（タコライス・肉飯・ラーメン・カレー・ソースかつ丼など）が用意され、当時を思い出す人もいました。また、家族連れの参加者も多く、幼い子供たちも、お父さんお母さんたちとお腹いっぱいに料理を味わっていました。

途中、太鼓部による演奏が披露されました。中学太鼓部による「祭り」、高校太鼓部による「百花繚乱」の一糸乱れぬ手さばきに会場からは拍手喝采でした。平成11年に定時制の太鼓を引き継いだのが始まりでしたが、その中心だったのも一貫生でした。

会が最も盛り上がりを見せたのは、くじ引きでした。この賞品のほとんどが、麗澤瑞浪中学卒業生からの協賛品です。お酒、カーペット、ダイヤのネックレス、牛肉、海の幸など。麗澤会からはセンター講座受講券など、豪華賞品のくじ引きに参加者は固唾を飲んでいました。

1期から25期まで25年の開きがありますが、中には親子で、あるいは祖父の代から3代、麗澤瑞浪に学んでいる人もいます。こうして卒業生が集まり、友や恩師と語らう中で、学生時代という感受性豊かな時期に、さまざまな経験を通して得た貴重な学びがあったことを確認できたひと時だったと思います。そして支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちを新たにした記念大会でした。

「思い出多き6年間」

30周年記念大会実行委員長
中学1期　伊藤敏大

麗澤瑞浪中学校開校30周年おめでとうございます。この度、この大きな節目の行事に実行委員長という大役をいただき大変光栄に思っています。

大食堂で行われた記念大会には総勢296人の卒業生と先生方にご参加いただき、盛会のうちに終われたことを、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。30年前、私たちは不安と希望を胸に瑞浪にやってきました。

その時のことは今でも鮮明に覚えています。北は北海道、南は長崎から、頭も良く、運動もできて、しかもかなりのやんちゃ坊主だった同級生に、私は気後れしてなかなか自分を出せずにいたことを思い出します。友だちの中にはホームシックになり夜な夜な涙を流していた者もいました。チューターの先生、奥さんに励まされ何とか生活に慣れることができました。本当に我が子のように可愛がっていただきました。1期生の斉藤君が乾杯挨拶で「僕たちは血の繋がっていない兄弟」と語ったことが僕たちの6年間を表わしていると思います。

記念大会では退職された先生方を招待させていただき、懐かしい思い出話に花を咲かせ、和やかな時間を過ごすことができました。最後には1期生を代表する絶好調男の森田幸作君に校歌斉唱と万歳三唱で締めてもらいました。

校舎では恩師の授業や学校、寮の見学をしました。夜には各期別同窓会で盛り上がりました。我々1期生は名古屋で、中井君が杜氏を務める「浪の音」で乾杯し、来年の28期同窓会での再会を誓いました。

本記念大会を開催するに当たり、先生方、各期代表者の方々、食堂の皆さんなど大勢の方にご協力いただきました。今後も母校の発展にご協力いただき、またみずこう麗澤会の活動にもご支援賜りますようお願いします。本当にありがとうございました。

屏風山

社会に出て、活躍できる人とはどのような人なのだろうか。企業の採用ホームページなどから見える、企業が求める人材は「自分で考えて行動できる人」のようだ。会社のために「私がやります」と積極的に行動できる人材が求められている▼ある就活支援グループが紹介している、企業が求める一般的な能力は、（1）コミュニケーション能力（2）行動力（3）積極性（4）問題解決能力（5）協調性（6）誠実さ（7）継続力であった。単に学校の成績が良いかどうかだけでなく、どのような考えを持ち、どのように行動できるかという人間性が重視されているということである▼飲食店などで、マニュアル通りに働く店員に遭遇することがある。客の質問に「わかりません」、要望に「できません」と答える。お客の立場に立って、真摯に受け止めて対応する姿勢が欠如しているのではないか。お店のため、お客のためという気持ちこそが、「自分で考えて行動できる人」へと成長させるはずだ。他者への思いやりの気持ちや、自分が所属する集団への愛、責任感や誇りこそ、社会で求められているのだと思う▼麗澤瑞浪では平日の朝と放課後、休業中に自習環境を提供しており、多くの生徒が自ら登校して何をどのように勉強するのかを、自分で考えて取り組む姿がある。校内にはさわやかな挨拶が響き渡り、誠実な生徒が多い。また卒業生が多く母校に遊びに来るほど、愛校意識も強い。思いやりを大切にする校風と、生徒が自ら行動できる環境が社会で活躍する人へと成長させていくと信じている。

恩師体験授業

小倉の漸化式

授業の始めに、卒業生に馴染みの深い「小倉の漸化式」が配布され、その歴史と先生の想いを熱く語られました。後半では授業に参加した卒業生の近況報告と共に、数学が卒業後にどのように役立ったかなどを発表し合いました。中には「会社を辞め起業した当初、生活のために数学の家庭教師をしてつないだ」という卒業生もいました。

学校・同窓会・モラロジーに繋がれ

小倉　博

長年教師をしてきて卒業生に思うことは、学校、同窓会に繋がってほしい、さらに建学の精神であるモラロジーを学び歩んでもらいたいということです。人生は苦難の連続かもしれません。そんな時、仲間との繋がりが支えにもなり、問題解決のカギとなるのが廣池千九郎先生の作られたモラロジーの考え方であると確信しています。

卒業された皆さんが幸せな人生を一歩ずつ進んでいくことを心より祈っています。

松田先生の懐かしの地理

今回の授業のテーマは中学1年生で勉強した世界の国々の面積と人口についてでした。中学1期生を教えていた頃は「記憶力のピークだから」と言って、ひたすら国名や首都名を暗記させていましたが、今ではその教え方や覚え方が異なることなどを紹介していただきました。後半は、先生が持参された懐かしいアルバムを見ながら参加した卒業生と当時の話で盛り上がり、和やかな時間となりました。

感慨深い卒業生の活躍

松田　興一

開校時、池田先生をはじめ先生5人と42人の男子生徒で始まった中学が、30年たってこんなに立派な学校になり感無量です。開校当初、いろいろな苦労がありましたが、全て報われた気がします。また卒業生も立派に社会を支える存在になっているのを目の当たりにして感慨深いものがあります。

私は16年前に柏に転勤となり、相変わらず瑞浪時代と同じく中1を追い掛け回しながら社会(地理)を教えています。毎年変わる世界の人口は、覚えるのが難しいですが、参加されなかった皆様も、時には世界地図を開いて広い世界に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

教師生活を語る深澤先生

授業の始まりは、英語の発音についての話でしたが、次第に先生の教師生活の原点となった話になり、新任時代に出会ったイスラエルの教育学者から「あなたの教師としてのテーマは何ですか?」という質問が大きな分岐点になったというエピソードを話されました。そのまま参加していた卒業生に「人生にテーマを持つことの重要性」について熱く語っていただきました。

人生にテーマを

深澤　了

中学開校30周年記念が行われ多くの卒業生に会うことができました。瑞浪では唯一の1期生に直接かかわった現役教師の一人になりました。

会食では様々な期の教え子と短い時間ながらも語ることができたのはとても幸せな時間でした。その後体験授業では、狭い中学の教室に20人以上の大人の生徒が集まってくれ、皆の顔を見ていると昔の思い出が徐々に甦ってきました。

定年を1年半後に迎えた今でもテーマをもって教師生活を送れていることに感謝しています。

テーマを持つこととは自分に生きがいを持つことであり、長い人生という年月の中で、ブレない自分を育てることにも繋がります。卒業生の皆さん!是非人生にテーマを!

盛林先生の皇国史観

盛林先生のあの大きなすばらしい声で、卒業生の名前を呼び上げ出席を取ってからの授業となりました。内容は日本の大きな歴史上の事柄と天皇との関わりについての授業でした。645年の大化の改新から1945年の太平洋戦争が終わり象徴天皇となられたことまで皇国史観についての授業で、卒業生から「相変わらず字が上手いですね」など声が上がるほど和気あいあいとした授業が展開されました。先生の熱い想いの伝わるアッという間の40分間でした。

麗澤の卒業生に期待

盛林　和久

本校創立者の廣池千英初代校長は、「麗澤教育の根幹は、生徒の心に仁愛の精神を植えつけることにある」と、事あるごとにおっしゃっていました。以来、50年以上にわたり幾多の新入生が麗澤の門をくぐり、麗澤精神を矜持し、社会に巣立っていきました。私たち麗澤教育に携わる者が卒業生に望むことは、それぞれの立場や仕事を通して、「自ら一本の松明となりて、世界の一隅を照らす」国家有用の人物になってもらいたい、そして、仕合わせになってもらいたいということです。「仕事」とは、「仕えごと」という思想をもつものです。人と人が互いに、互いのために仕え合って、合わせて作っていくのが世の中で、そこから出たのが「仕合わせ」という言葉であったと言われます。近頃は「仕合わせ」を「幸せ」と書くが、これは幸運、不運という意味しかなくなってしまっています。仕事を持つとは、その社会の支え合いの一端を担うこと。協力、強調、そして思いやりこそが大切です。仕事の意味が金儲けと思っている社会は心の貧しい社会であると思います。

倫理と哲学を語る鈴木喜先生

15人の卒業生に対して、高校時代の倫理の授業が行われました。先生も、卒業生も、共に懐かしい雰囲気の中、お互いに何とも言えない緊張感を醸し出しながらの40分間となりました。先生の倫理や哲学に対する熱い思いを、改めて実感することができました。

人生の意味を問い続けよ

鈴木　喜八郎

一貫生の多くが高校で履修した倫理を体験授業で取り上げましたが、授業というよりは倫理や哲学に対する私の思いを語る内容となりました。思えば私のこれまでの人生は多くの思想家やその考えに支え続けられてきたのです。授業で紹介した、空海然り、ニーチェ然り、ユングも、そしてもちろん千九郎先生も。これらの面々は種々の困難に直面した時のまさに救世主でした。千九郎先生はやはりすごい!最近話題になったサンデルや彼が批判的に取り上げたロールズの正義論よりとてつもなくスケールの大きさを感じます。最近強く思うことは、卒業生の皆さんも人生の意味を問い続けてほしいということです。大上段に構える必要はありません。日々の生活そのものが哲学の追及なのです。そしていつの日か再び母校を訪れた時、私に哲学のことや学ぶ楽しさを熱く語ってください。それを期待して体験授業をお引き受けしたのですから。

藤田先生のマシュマロチャレンジ

体験授業は、マシュマロやパスタなどを使ってタワーを作るマシュマロチャレンジというものでした。即席でグループを作りタワーの高さを競うため、チームワークが必要不可欠となります。各グループは試行錯誤を重ねながら交流を深め、大いに盛り上がりました。授業の最後にはゲームを通して「何事にも挑戦してみることが大切である」というメッセージが込められていたことが明かされました。

母校を守り育てること。

藤田　知則

私の麗澤との出会いは39年前、オギャーとこの世に生まれたときからです。その後、『麗澤の教師』になることを志し、現在に至ります。それには、さまざまな理由がありますが、一番大きなことは麗澤教育の持つさまざまな可能性を心の底から信じているからです。麗澤教育を受けた卒業生の皆さんには、世の中でたくさん活躍してもらいたいと願っています。その信念はこれからも変わりません。教師生活も14年目となった私ですが一時期は、世の中で活躍している卒業生を見るたびに、学校に残っている自分が燻っているように感じられた時期もありました。しかし、あるとき卒業生から「ここが僕の第2の故郷だ、戻ってくる場所があるって幸せですね。これでまたがんばれます」と言われました。目が覚めました。自分の果たすべき役割を、卒業生に教えられた瞬間でした。今では、皆さんがいつでも戻ることのできる母校を、守り育てる仕事に誇りを感じています。

同窓会

中学1期名古屋で同窓会

10月31日に中学校開校30周年記念大会の後、名古屋にて同窓会を行いました。40過ぎたおっさんばかりですが、18人の卒業生が集まり、当時の思い出や近況を話しながら、とても盛り上がった会になりました。

最近、同窓会がなかったので、久しぶりのメンバーや卒業後初めて学園を訪れる者もいるなど、今回の記念大会はとても良いきっかけになりました。

最後に、次は42人全員集まれるようにしようと話がはずみ、次回の同窓会につなげていきたいと思います。

（川崎久典・記）

中学4期　母校に集う

記念大会には家族で参加してくれた同級生も多く、合わせて20人ほどが集まりました。食堂で肉ちゃんこなどの懐かしいメニューを口にしながら当時を思い出しました。

その夜は名古屋に移動しての同窓会。記念大会のみの参加者もいましたが、入れ替わりで20人ほどが集まりました。よく会う仲間や、10数年ぶりの再会となった仲間もいて、本当に楽しいひと時でした。

同期の全員が集まることは難しいですが、いつでも来られるような同窓会をこれからも続けていきたいと思います。最後に記念大会の司会を女子1期生として務めてくれた荻原さんと、名古屋会場の手配をすべてしてくれた堀井くんに感謝。

（望月正人・記）

中学5期30代最後の同窓会

私たちの期は、東は東京から、西は高知から合計13人が集まりました。

高校卒業以来の再会もあり、楽しい時間を過ごせました。ほとんどが、家族もいる中、時間を作って、名古屋に集まれたことは、中学からの縁なのではないでしょうか。

来年で40歳になる39歳での集まりだったので、いい節目になったと思います。（村上洋介・記）

中学6期懐かしの母校を満喫

6期は総勢18人の同級生が集まりました。

中学3期、高校の同級生と共に

この同窓会を企画しようとする中で、わずかな人数しか集まらない様子でしたので、中学3期と同期の高入生にも呼びかけ企画しました。結果16人ほどが集まることができ、楽しい時間を過ごすことができました。

中学3期のみの同窓会は実現しませんでしたが、逆に高校から入学した同期のメンバーたちにとっては何の記念でもない日にもかかわらず快く集まってくれ、あらためて麗澤同期の親交の深さを感じました。

（井上大輔・記）

記念式典では、肉ちゃんこ・肉飯・わかめごはんなど思い出の料理を懐かしいメンバーと食べ、その後、学校や体育館を見学し、高校・中学の寮も見学。最後に千英先生の銅像の前でおなじみのポーズで記念撮影。

夜は瑞浪市内で期別同窓会。中日本生涯学習センターに宿泊し、深夜まで笑いっぱなしの時間が続きました。

6年間を共に過ごした仲間たちと6年間を共に過ごした母校を大満喫しました。来年度は私たちも卒業20周年！　今から次回が楽しみです。

（佐々木幸太郎・記）

中学9期、昔話に花が咲く

前回の同窓会から早くも5年が経ちました。普段は仕事、家庭と多忙の中、昼は学園で11人、夜は名古屋市の飲食店で13人が集まり同窓会を開催しました。

中部、関東、関西、遠くは九州から集まってくれました。卒業以来の出席者もおり、二次会、三次会と盛り上がりました。1日があっという間に過ぎてしまい、昔話に花が咲きました。

次回は2年後、大阪開催を約束して解散しました。今回参加できなかった方は是非時間を作って集まりましょう。

幹事交代、小川耕太郎君よろしくお願いします！

（宿谷和史・記）

中学10期いつまでたっても変わらない仲間と

記念大会後の10期生の同窓会は14人が名古屋に集まりました。参加予定の半分の人数しか集まらないまま開始となり、全員揃ったのは終了30分前でした。

参加してくれた人の中には、仕事を終わらせて来てくれた人、子供を家族に預けて来てくれた人など、それぞれみんな頑張っており、家族に助けてもらって集まったメンバーです。会った瞬間から中学、高校時代にタイムスリップしたように感じ、3時間もあっという間に過ぎていきました。4次会まで行った人もいるそうです。みんな「昔と変わってないな」と言い合っていました。このような楽しい時間を過ごせたことに感謝しています。

（川崎好人・記）

ささやかな中学11期同窓会

私たちは記念大会後、名古屋駅近くの「楽蔵うたげ」でささやかな同窓会を行いました。

仕事の話、結婚の話、家族の話、子供の話をしているうちにお酒も入り、いろいろなところに話が飛ぶのですが、気が付くと、中学高校時代の話に戻っているということの繰り返しでした。

結局集まったのは記念大会7人、多少の入れ替わりがあったものの、同窓会は男ばかり5人という少人数でしたが、一人ひとりとじっくり話をすることができ、これも同窓会の一つの形かなと思えるほど、充実した時間となりました。

（加藤昇一・記）

中学12期毎年忘年会

名古屋で中学12期の同窓会を開催しました。忙しい中にもかかわらず16人＋3人の子どもが参加。遠くからの参加もあり、本当に感謝感謝です。楽しい時間をありがとうございました。

連絡が届かなかった人、申し訳ありませんでした。39期は、毎年12月30日に杉原幹事のもと、名古屋で忘年会をしていますので、ぜひ奮って参加しましょう！詳細が知りたい人は、寺田（旧姓辰巳）か杉原まで連絡をお願いします。

（寺田維孝・記）

中学14期6人瑞浪に集う

記念大会には6人が参加しました。年齢がちょうど30歳になるという年でもあり、出産・子育てのピークでなかなか多くの同級生が揃うことは難しかったのですが、記念大会では懐かしのメニューを満喫しながら昔話に花が咲きました。その後の恩師体験授業でも、先生方の熱い想いを十数年ぶりに肌で感じることができました。

夜は市内の与志多にて同窓会を開きました。近況報告や次回の同窓会の時期や場所の相談など、話は尽きず、あっという間でした。

次回は家族を含め、多くの参加で行いたいと思っています。

（谷渕貴啓・記）

卒業から早や10年中学17期

中学卒業から10年を超え、結婚や出産の報告が飛び交う年齢になりました。午前中の記念大会では、中学時代にお世話になった先生方とお会いし、近況報告を行いました。夕方からは瑞浪駅近くにて気心の知れた友と、思い出話や最近の悩みなどについて話し込み、楽しい時間を過ごすことができました。

我々は来年、麗澤瑞浪を卒業して10年になります。来年は、高校卒業10周年同窓会を開催する予定です。

（仲内悠祐・記）

中学20期、懐かしの母校へ集合

懐かしい顔がたくさん瑞浪の地に集まり、思い出深い食堂のご飯や、お世話になった先生と話したり、また恩師の授業を受けたり、中学生の頃に戻ったように心の底から楽しむことができました。

夜の期別同窓会では、大会に参加できなかった友人も集まり、近況報告をしたり、思い出話をしたりして盛り上がりました。

このような会を開いていただき感謝しています。

（加藤美宇・記）

中学21期社会人になって初めての同窓会

記念大会後、少人数ですが同窓会を行いました。まだ学生の者や社会人になりたての者など各々が近況報告をして盛り上がりました。久しぶりに会ったことを感じさせないくらいあっという間に中学時代にタイムスリップしたような楽しい会となりました。

今回は環境の変化が大きく全員が集まることが出来ませんでしたが、仕事に慣れ余裕が出来たら、また高入生も含めて大きな同窓会をしたいと思います。今回の同窓会という機会が慣れない社会人生活の励みになったという声があり、とても充実したものとなりました。

（位田憲彦・記）

中学22期久々の同級生との語らい

10月31日の同窓会では全員は集まることはできませんでしたが、集まった人たちで楽しい会を開くことができました。

名古屋の神戸館というお店で美味しい料理を食べ、美味しいお酒を飲みながら学生時代の思い出話をしたり、写真を撮ったりしました。

みんなハタチを超え、お酒を飲みながら過去の話をする日がこんなに早く来るとは思っていなかったので、新鮮な気持ちでした。そして時の流れの早さを改めて感じました。

次に集まる時はもっと多くの人が集まれたらいいなと思います。そして、麗澤瑞浪で過ごしたことを一生忘れず、同窓会の度に新たな思い出話をしていきたいです。

（吉村琴乃美・記）

中学24期久しぶりに再会

記念大会の夜に中学24期生で集まりました。遠方から来てくれた人もおり、合計30人近い人が集まりました。高校卒業以来の再会も多く、思い出話などに花を咲かせたりと、大いに盛り上がりました。一貫生だけが集まるというのは高校に入ってから機会があまりなかったため、とても懐かしい雰囲気でした。

中学高校6年間という、人生において大切な時期を共に過ごした仲間たちとの絆を再確認できた、とても良い会になったと思います。

中学25期半年ぶりの再会

10月31日に瑞浪で同窓会を開催しました。今回は16人が参加し、その中には中学卒業以来の再会をした友人もいました。さらに中学時代お世話になった瀬田先生にも来ていただき、在学中の思い出や近況を話し、瑞浪を離れたとしても麗澤のことも忘れず、地方に行っても頑張っていることを語り合いました。会も盛り上がり、充実したひと時となりました。

次回は成人式にまた開催する予定です。次回の再会を楽しみにしています　（奥山岳洋・記）

麗澤瑞浪高等学校　平成28年度　生徒募集要項

	推薦入学試験（単願）	一般入学試験（単願・併願）
願書受付	平成28年1月20日(水)～25日(月)必着	平成28年2月3日(水)～8日(月)必着 ＊1月20日(水)からの受付も可
試験期日	平成28年1月30日(土)	平成28年2月13日(土)

麗澤瑞浪中学校　平成28年度　生徒募集要項

	1期入学試験	2期入学試験
願書受付	平成27年12月21日(月)～25日(金) 平成28年1月5日(火)～6日(水)必着	平成28年2月3日(水)～8日(月)必着
試験期日	平成28年1月10日(日)	平成28年2月13日(土)

朗報　寮費減免制度を拡充　来たれ寮生

○入寮費・寮指導費・寮費の全額を減免
・兄弟姉妹が本校又は麗澤各校に2名以上在籍もしくは卒業している場合

○入寮費・寮指導費・寮費の2／3を減免
・兄弟姉妹が本校又は麗澤各校に1名在籍もしくは卒業している場合

○入寮費・寮指導費・寮費の1／2を減免
・保護者が本校又は麗澤各校を卒業している場合

おたより

みんなに会いたいです

斉藤寛（12期定）

みずこうの会報を見て、懐かしく思い、皆ずいぶん老けたな～と感じました。そういう自分もそうなんだ！と思い…皆元気そうで何よりです。また、皆に会う機会があったら是非会いたいです。今、絵を画くのが趣味です。是非皆に見てもらいたいです。寛平！

地元に根をおろしました

浅野斗志男（16期）

昨年3月に医療法人社団大誠会に入職しました。まだ麻酔科医としての仕事も続けていますが、透析サテライトや地域のかかりつけ医の仕事が増えてきました。今年9月に自宅を新築、転居しました。ようやく地元大垣に根をおろした生活ができるようになりました。

引っ越しました

村雲良佳（旧姓＝松岡、18期）

二人の娘の進学や夫の仕事の都合で5月から東京に引っ越しました。3年ぶりに家族4人での生活を送っています。

家を建てました

島倉俊介（26期）

滅多に連絡しませんが、家を建て住所変更したので連絡させていただきます。蟹井校長にはお世話になったので、またお会いできる日を楽しみにしています。

元気です

力石裕美（旧姓＝岡本、35期）

平成23年に女の子、27年4月に男の子を出産し、主人の家族と一緒に元気に生活しています。私自身はご縁をいただいて日本生命に勤務しており、沢山の方のお役に立てるようにと、柄にもなく勉強にも励んでいます。同級生とも携帯でいまだに連絡を取り合い、近況などやりとりしていますが、瑞浪での友人は卒業して18年経つ今でも心から分かり合える大切な存在です。素晴らしい教育環境とそこへ通わせてくれた両親、沢山の先生方や友人に感謝する日々です。

ありがとうございました。

改名しました

秋元美慧（45期）

僧侶になるため、名前を改名いたしました。梨妙（りみょう）になりました。よろしくお願いします。

結婚しました

徳永聡美（旧姓＝服部、46期）

4月に入籍し、7月19日に挙式、披露宴を行うことができました。麗澤瑞浪で勉強を学び、大学に進学したからこそ、旦那に巡り会えたのではないかと思っています。これからは道徳と笑顔を大切にしながら、楽しい家庭を築いていきます。